

2011年4月、中国華東師範大学から駒澤大学に留学生の湯(トウ)ブンさん(女性)が来たときには、彼女はお化粧もしていなくて純朴そうな学生さんでした。

日本語検定試験1級を満点通過した学生です。大変な努力家で優秀かつ上昇志向もある学生で日々勉学に励んでいたことや休日等を利用して一緒に名所旧跡の見学や歌舞伎などの古典芸能の鑑賞をしたことを懐かしく思い出します。

卒業後は、自らのキャリアを積み重ね、いまや殻を割って自信にみなぎり自己を確立しています。うらやましいと思います。

2018年には私が所用でニューヨークに行った時に米国にいた彼女に連絡しましたら先輩の朱さんと一緒にアムトラック(全米旅客鉄道)を利用、2時間もかけて会いに来てくれました。

まさか日本で交流した中国からの留学生とニューヨークで会えるとは思もしなかつただけに本当に嬉しく感動したことを昨日のように思い出します。

このように湯さんとは卒業後も交流をして来ましたので今回の「あの留学生は今」の企画を連絡、説明したところ、心よく近況を寄せてくれましたので紹介させていただきます。

【湯 ブンさんからの寄稿文】

2011年に駒沢大学に交換留学したトウブンです。来日当初から三井ボランティアの皆様大変お世話になりました。富士山、歌舞伎などを含め、三井ボランティアの活動で留学生活が充実したものになりました。特に高橋さんが家までお招きいただきました。最上さんから日本語をお教えいただき、日本語能力試験で満点を取りました。佐藤さんからギターのこといろいろ勉強しました。今思えば、三井ボランティアの皆様が家族のように暖かく私に接してくれました。私にとって、すべてがかけがえのない思い出です。

留学生生活を終え、私は大学に戻り、2013年に卒業しました。卒業後、みずほ銀行中国で勤務ははじめました。その中、たくさんの友達ができ、金融についてもより深く理解できました。

それに伴い、専門知識の不足に痛感し、自分もまた勉強しつづけなければならないと考え、アメリカの大学院に応募しました。2016年にワシントンの近くに位置するメリーランド大学に合格し、数理ファイナンスの修士として、再び留学生活を開始しました。日本での留学生活と異なり、高額の学費、就活のプレッシャー、そして、山積みの課題。それらと戦う中で、自分を磨き、2018年に卒業しました。高橋さんと一度ニューヨークでお会いすることがあり、同じ駒沢大学の交換留学生の朱慧さんにご馳走していただきました。

卒業後、運良くメリーランドのあるコンサルティング会社で、金融リスクモデル構築に携わりました。2020年年初め、ある証券会社に転職し、コロナ禍が勃発した後は家で勤務してきました。去年勤務する会社がモルガン・スタンレーに買収され、今年4月からモルガン・スタンレーの従業員になります。また、2019年に結婚しました。相手は同じ中国人です。

駒沢大学に交換留学してから、間もなく10年になります。この10年間の中で、日本での一年間が皆様のおかげで、とても楽しく、豊かに過ごしました。今でも三井ボランティアの皆様感謝の気持ちがいっぱいです。機会があれば、また来日し、皆様とお会いすることができればと思います。このコロナ禍、どうかご自愛ください。



2019/11 プラハにて



2020/12クリスマス祝い

【湯さんの寄稿文を拝見して あとがき】

私たちがお世話した若者が思った以上にみんな三井V-Netを懐かしみ感謝してくれているのがうれしいです。

これからも 三井V-Net に所属させていただいて、若い人たちに英気をもらうことができればこんなにうれしいことはありません。

以上